



記念植樹に参加した6組の新婚さん

## 新婚さん6組が桜の記念植樹

結婚記念植樹が4月22日、長者の原・結婚の森で行われました。

対象となったのは、平成28年度中に婚姻届けを提出し、村に住んでいる25組の



協力して行われた桜の植樹

夫婦。記念植樹の当日には、希望された6組の新婚さんが植樹に参加しました。植樹には寒さに強いオオヤマザクラが用意され、夫婦で協力し合い植樹が行われました。

また、今回も結婚記念植樹と併せ、景観づくりの一環として、長者の原・結婚の森などに将来的には1,000本の桜を植え、桜の名所とするために、桜の植樹が行われました。

桜の植樹には、村議会議員や役場職員など、およそ30人が参加。6組の新婚さんとともに桜の植樹に汗を流しました。

## 新入団員を迎え春の教養訓練

村消防団(諸田光二団長)では4月9日、春の教養訓練を多目的屋内運動場で実施しました。

悪天候のため、多目的屋内運動場に場所を移し、午前9時から行われた教養訓練には、およそ200人の消防団員が参加。利根沼田広域中央消防署職員の指導のもと、姿勢服装の点検やラッパ吹奏の訓練が行われたほか、広さに制約のある屋内運動場のため、各小隊ごとに分かれ、緊張感たどよう雰囲気の中で入念な部隊訓練が行われました。



訓練を行う新入団員

人は、公民館多目的ホールに移動し、的確・迅速な部隊活動習得のため、敬礼や行進などの基本動作を中心に訓練を行いました。



真剣な表情で訓練を行う消防団員

## ふるさと大使の

### 荒井さんが寄附

村ふるさと大使の荒井宏二さん(東京都板橋区)が4月5日、村に多額の寄附をされました。

この寄附は、戦時中に東京都板橋区志村第5小学校の児童が川龍寺に疎開していたことの縁もあり「村の子どもたちの教育や文化のために役立ててほしい」という思いから寄せられたものです。

寄附は村の教育、文化発展のために有効に活用させていただきます。ご厚意に對し心より感謝いたします。



村へ寄附をされた荒井宏二さん



誓いの言葉を述べる儘田君(昭和中)

# 126人が新しい学校生活をスタート

村内各小中学校では4月7日、入学式が行われ、126人の児童生徒が新たな学校生活をスタートしました。

昭和中学校では、午前10時から式が行われ、初々しい表情の新入生68人が、2・



式を終えた児童(南小)

3年生の拍手で迎えられました。

誓いの言葉では、新入生を代表して儘田陸君が「昭和中学校の校訓『凡時徹底』『プラス思考』を心がけ、充実した中学校生活を送っていききたいと思います。ご指導をよろしくお願ひいたします」と中学校生活の決意を述べました。

午後には、各小中学校で合わせて58人の新1年生が元気に入場。入学式に臨みました。

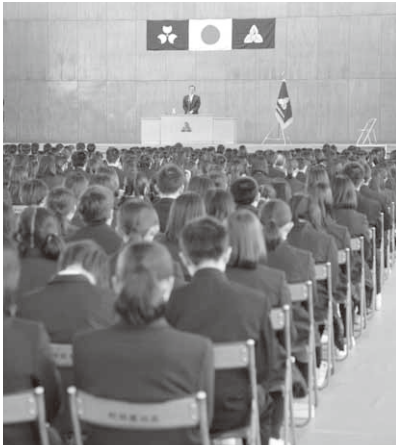
南小学校では、式を終えて教室に戻った23人の児童たちが、これから始まる学校生活に胸をおどらせていました。

# 利根実業高で保坂さんが記念講演

利根実業高(横手静夫校長)では4月24日、第98回開校記念式が行われました。

この式典では、同校卒業生で元村議会議員の保坂初次さん(鎌沢)が「イチゴ栽培と共に歩んだ私の農業人生」と題して記念講演を行い、471人の全校生徒たちが熱心に聴講。

保坂さんは講演の中で「就農した頃の生活は大変厳しかったが、イチゴにかける想いは人一倍強かった。紆余曲折あったが、群馬県育成品種のイチゴ『やよいひめ』などの開発に携われたことは誇り。妻と共に歩んだ農業人生でもあり、共に生涯現役で頑張りたい」と語りました。



講演に耳を傾ける生徒たち

また、生徒たちへは「志を持っては夢はかなう。多くの人たちとの出会いを大切にしてほしい」とエールを送りました。



記念講演を行う保坂さん

# 村内各地区で道路愛護運動を実施

村内各地で4月中、春の道路愛護運動が実施されました。

道路愛護運動は道路美化に対する関心を高め、道路の維持保全を図ることを目的に実施されています。参加した皆さんは、道路わきや側溝にたまった落ち葉や滑り止めの砂をスコップで取り除く作業、道路に捨てられたごみの収集などに黙々と汗を流していました。

皆さん、道路愛護運動にご協力いただきありがとうございます。ありがとうございました。



村内各地で行われた道路愛護運動